



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2017年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 栗原英見 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】

秋季学術大会関連のご案内 認定資格申請のお知らせ 「専門医・指導医の理念」制定
会員カードについて 各賞・助成等の選考結果と募集 「若手研究者の集い」開催報告

日本歯周病学会のさらなる発展を期待して



会計担当理事
村上伸也

和泉雄一前理事長の任期中(2015~2016)に、日本歯周病学会の会員数は10,000名を超えました。会員数の多寡が決してその会の意義を決定するわけではありませんが、社会的なインパクト・責任・期待などを表す一つの指標には違いないでしょう。あまた存在する学会・研究会のなかで、われわれ日本歯周病学会が、期待され、その付託に堪えていかなければならないミッションとは何でしょうか？ 沢山あるミッションのなかで、歯周病学・歯周治療学の特殊性に、思いを馳せてみたいと思います。

歯科医療はその特質上、材料学に依存する側面が多い医療です。そして、今もその重要性は変わっていません。実際、材料学的な進歩は歯科医療を変革し続けています。一方その対極として(医科ではこちらのほうが一般的だと思いますが)、感染や生体応答などに対峙して、その病気を理解し、診断・治療するとい

う、biology-orientedな医療があります。そのような医療を日常的に実践している代表的な歯科医療の一つが、歯周治療といえます。すなわち、細菌学的・生物学的な観点から予防・診断・治療を実践するとともに、新たな歯科医療を開発・展開しようとしているのが、われわれが専門とする歯周病学であり歯周治療の分野ではないでしょうか。そのことの証左として、分子生物学的な病態診断、遺伝的要因に基づく感受性診断、全身状態とのlinkageを解明する歯周医学、歯周組織再生医療の分野で、日本歯周病学会の会員諸氏は、多大な貢献をしてこられました。また日常の臨床においても、全身状態や生活習慣を含むさまざまな患者背景を無視しては適切な治療が成り立たないのが、歯周治療の分野でしょう。

日本歯周病学会に期待される多くのミッションの一つとして、われわれはこのようなbiology-orientedな研究をこれからも推進し、良質な臨床研究・疫学研究を実践し、そしてそのような研究成果のいくつかを責任をもって新規医療として診療の場に届けなければなりません。そしてその積み重ねが、歯科医療の分野で、かつて誰も想像もしたことのない革新をみせてくれるものと信じています。

日本歯周病学会に所属する先生方が思いを一つにすることで、本会が5年後、10年後の歯科医療を変革する大きな推進力になるものと期待しています。

日本歯周病学会 60 周年記念京都大会のご案内

日本歯周病学会 60 周年記念京都大会を下記のとおり開催いたします。

今回の大会では、日本歯周病学会創立 60 周年を記念して京都の地で開催し「伝統と革新 歯周病撲滅に向けて！」をテーマに、これまでの本学会の活動を基盤に、全身の健康、再生治療、国際化、教育・研究などの今後の方向性について、特別講演・シンポジウムを通じて議論し、歯周病撲滅のために次の 10 年間の目標を「京都宣言」として社会に向けて発信いたします。

多数の皆様のご参加とご発表をお願いいたしたく、ご案内申し上げます。

1. 会期 平成 29 年（2017 年）12 月 15 日（金）、16 日（土）、17 日（日）
2. 会場 国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地
TEL：075-705-1229 FAX：075-705-1100
3. 日程
15 日（金）：認定医筆記試験、各種委員会、理事会、理事懇親会
16 日（土）：総会・評議員会・表彰式、特別講演 I（京都大学 小川 順教授）、特別講演 II（Prof. TE Van Dyke, Prof. G Seymour）、医

科歯科連携シンポジウムⅠ～Ⅲ、シンポジウムⅠ～Ⅲ、国際セッション、一般発表（ポスター）、ランチョンセミナー、企業展示

17 日（日）：医科歯科連携シンポジウムⅣ、シンポジウムⅣ～Ⅵ、各学会長講演、京都宣言（認定医・専門医教育講演、歯科衛生士教育講演）、臨床ポスター（認定医・専門医、歯科衛生士）、ランチョンセミナー、企業展示

4. 参加登録費（事前参加登録および当日参加登録）

	事前	当日
正会員（歯科医師・医師ほか）	5,000 円	7,000 円
準会員（上記以外）	3,000 円	4,000 円
非会員（歯科医師・医師）	10,000 円	12,000 円
非会員（上記以外）	5,000 円	7,000 円
学生（歯学部・専門学校生）	——	1,000 円

詳細は大会ホームページ（平成 29 年 4 月開設予定）よりご確認ください。

日本歯周病学会 60 周年記念京都大会大会長
日本歯周病学会理事長 栗原英晃

日本歯周病学会 60 周年記念京都大会臨床ポスター （認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表申し込みのご案内

学術大会における臨床ポスター（認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表の演題募集は、一般演題とは別になります。下記の要領でお申し込みいただくことになりますが、受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細はサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリごとに必ずご確認ください。なおオンラインでの申し込みが不可能な方は、日本歯周病学会 60 周年記念京都大会運営事務局（FAX：06-

6342-0214, E-mail：jspf60@nta.co.jp）までお問い合わせください。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリとも、筆頭発表者が学会認定資格（認定医・歯周病専門医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限りません。また、本学術大会における筆頭発表は 1 名 1 演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

演題申込の詳細・抄録登録期間は学術大会ホームページでご確認下さい。

演題申し込み時には学術大会ホームページにて、留意事項を必ずご確認のうえで応募くださいますようお願い申し上げます。留意事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。**特に「国内未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」「未承認治療法」に係る症例は臨床ポスターとしての発表は不可です。また臨床研究発表では所属機関の倫理委員会等の承認、症例報告の場合は患者の同意を得ていることをポスターに明記する必要がありますので、ご注意ください。**

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位）。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmといたしま

す。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内しますのでご確認ください。**演題番号の個所や顔写真の掲示場所、承認や同意の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。**なお、演題登録後における抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。ただし、なんらかの事情で発表ができなくなった場合は運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

本発表は、カテゴリーごとにエントリーすることで認定医・専門医優秀ポスター賞、ベストハイジニスト賞の選考対象となります（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第61回春季日本歯周病学会学術大会）にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管にご協力願います。

専門医委員会委員長 高柴正悟

認定医委員会委員長 吉成伸夫

歯科衛生士関連委員会委員長 坂上竜資

認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 認定歯科衛生士申請（第25回認定歯科衛生士認定審査）および更新

平成29年5月15日（月）：受付開始

平成29年6月2日（金）：締め切り（消印有効）

平成29年7月中旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成29年9月頃：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション

平成29年12月15日（金）：申請・更新合格者を理事会で承認

平成29年12月16日（土）：60周年記念京都大会

時合格発表

平成30年2月：認定歯科衛生士認定証発行

2. 専門医・指導医申請（第57回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

平成29年6月5日（月）：受付開始

平成29年6月23日（金）：締め切り（消印有効）

平成29年7月中旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成29年8月中旬～下旬：（専門医申請者のみ）**専門医認定試験（ケースプレゼンテーションと口頭試験）開催**

平成29年12月15日（金）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

平成29年12月16日（土）：60周年記念京都大会時に合格発表

平成30年2月：専門医・指導医認定証発行

3. 認定医申請（第18回認定医認定審査）および更新

平成 29 年 6 月 26 日（月）：受付開始
平成 29 年 7 月 14 日（金）：締め切り（消印有効）
平成 29 年 7 月下旬：申請および更新に関する書類
審査会開催
平成 29 年 12 月 15 日（金）：（申請者のみ）筆記試
験会場：京都国際会館
申請・更新合格者を理事会で承認
平成 29 年 12 月 16 日（土）：60 周年記念京都大会
時に合格発表
平成 30 年 2 月：認定医認定証発行

⇒平成 30 年 1 月 1 日より、認定医申請の際に、本
学会が行う倫理に関する講演の受講（1 回以上）
が義務付けられております。平成 29 年度の倫理
講演は第 60 回春季学術大会（福岡）のみの開催に
なりますので、ご注意ください。

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則
等については、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）
をご確認ください。ホームページに記載された方
法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。
なお、規則・細則は改訂されることがありますので、

ホームページにおける申請受付前 1 カ月以内の最新の
記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医を養成する歯科医療機関を認定する
制度です。申請・更新受付とも期間は平成 29 年 6 月 5
日（月）～6 月 23 日（金）（消印有効）です。申請・更
新手続きについては、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）
に記載しておりますので、これに従い手続き
を行ってください。

認定医、専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得 できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会およ び研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導
医等主催による任意の研修会について、研修単位取得
対象研修会として認定する制度です。申請期間は平成
29 年 6 月 5 日（月）～6 月 23 日（金）です。手続きの
方法等を学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に
記載しておりますので、これに従い手続きを行ってくだ
さい。平成 29 年 7 月末頃までに専門医委員会の審
査による認定の諾否を通知いたします。

「日本歯周病学会 歯周病専門医・指導医の理念」が制定されました

平成 28 年 10 月 6 日開催の第 2 回理事会において
「日本歯周病学会 歯周病専門医・指導医の理念」が承
認され、日本歯周病学会ホームページにも掲載されま
した。現在専門医・指導医資格をおもちの方、これか
ら専門医・指導医資格取得を目指される方は、この理
念を念頭にさらなるご研鑽に努めていただきたくお願
い申し上げます。

日本歯周病学会 歯周病専門医・指導医の理念

歯周病専門医のあるべき像

- ・日本社会において歯周病専門医としての責任と誇り
をもち、医療人としての高い倫理性、人間性をもっ
て、国民に安全、安心な歯科医療を提供する。
- ・歯周病学・歯周治療学の専門的知識と技術を有する
歯科医師であるとともに、歯科医療関係者ならびに
医療関係者と連携をとり、チーム医療を実施する。
- ・歯周病学・歯周治療学の発展および向上を図り、歯

周病と全身への配慮、高齢者に対する歯周治療、口
腔管理が実施でき、地域歯科医療に積極的に参加し、
もって国民の口腔保健と全身の健康増進に貢献す
る。

- ・歯周病予防教育を実践し、国民、行政関係者、報道
関係者、医療従事者に対して、啓発活動を行う。
- ・常に最新の学術知識、医療技術を得て、生涯にわた
り自己研修する。

歯周病指導医のあるべき像

- ・専門医の要件に加えて、認定医および専門医の積極
的育成を行う。特に専門医申請に際して、責任ある
指導を行う。
- ・地域医療、地域歯科医療、歯科医師会等において、
指導的立場で歯周病学・歯周治療学の推進を行う。

（平成 28 年 10 月 6 日開催第 2 回理事会承認）

日本歯周病学会会員カード発行について

表記の件につき、平成 27 年 5 月以来、1. 学会に E メールアドレスをご登録いただく、2. 直近の年会費を完納いただく、の 2 つの条件を満たした会員各位に会員カードを送付いたしました。この会員カードを使用した学術大会参加登録の準備やテストを進めてまいりましたが、平成 29 年 12 月 16 日・17 日開催の 60 周年記念京都大会より、いよいよ本格的に参加登録に使用することとなりました。平成 29 年 12 月 16 日・17 日開催の 60 周年記念京都大会より、会員カードがないと参加受付にお時間を頂戴することになりますので、あらかじめご準備いただきますようお願い申し上げます。

ついでには、上記 2 条件を緩和し、直近の年会費の完納があれば会員カードを送付させていただくことになりました。平成 29 年 4 月 1 日までに入会され、年会費を完納していただいている会員のうち、これまで会員

カードがお手元に届いていない方については、平成 29 年 5 月中に会員カードを送付いたします。

会員カードがお手元に届かない会員で、平成 29 年 4 月以降に平成 29 年度分までの年会費を完納いただきました各位には、平成 29 年 11 月までに会員カードを郵送いたします。

また、会員カードの紛失・破損等による再発行を希望する会員は、日本歯周病学会ホームページ (<http://www.perio.jp>) 左側の「ピックアップ」コーナーにある「会員カード再発行・変更依頼」のバナーから届出用紙をダウンロードいただき、必要事項記入のうえ、届出用紙に記載されている会員カード製造会社まで、FAX または E メールにてご連絡ください。会員カードの発行は春季・秋季学術大会前の年 2 回となります。あらかじめご了承ください。

学術賞・研究助成・研修会等のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1～3 はホームページからの申請です。

申請期間：平成 29 年 4 月 24 日～6 月 16 日（共通）

1. 第 17 回日本歯周病学会学術賞（2017 年度）

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞盾）のほかに副賞 20 万円と盾（LION Award）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_science/

2. シーズ育成若手奨励研究助成（2018 年度）

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シー

ズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_seeds/

3. 企画調査研究助成（2018 年度）

本会では、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながる多施設研究を推進することを目的として、企画調査研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_project/

4. 第 4 回「若手研究者の集い」合宿研修会

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む 1 泊 2

日の合宿形式のイベントです。詳細につきましては、
秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホーム
ページで通知いたします。

5. 歯科衛生士教育講演会

開催が決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

6. 臨床研修会

開催が決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

各賞・助成の概要につきましては、学会ホームページに掲載しております。対象者および受賞者の所属は、選考時のものです。

シーズ育成若手奨励研究助成（2017年度）

前川知樹

（新潟大学大学院医歯学総合研
究科高度口腔機能教育研究セン
ター）

「Keystone 細菌をターゲットと
した細菌制御による新規歯周病
治療法の開発」



柳田 学

（大阪大学大学院歯学研究科
口腔分子免疫制御学講座（口腔
治療））

「喫煙により増悪する歯周病の
病態形成に関する基礎的研究」



第14回会誌賞（2015年度）

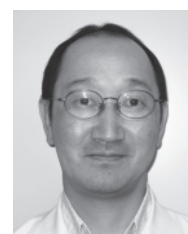
基礎分野

「肥満糖尿病ラット歯周炎の歯
肉組織におけるオステオポンチ
ンの局在」

57巻（4）：149-158, 2015

稲垣裕司，中島由紀子，堀部ま
すみ，生田貴久，梶浦由加里，
成石浩司，木戸淳一，永田俊彦

筆頭著者所属：徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周
歯内治療学分野



企画調査研究助成（2017年度）

山本直史

（岡山大学病院歯周科）

「エクソソームによる侵襲性歯
周炎患者の病態解析～パイロッ
ト研究～」



第16回学術賞（2016年度）

石原裕一

（松本歯科大学歯科保存学講座）
「歯周組織破壊における IL-1Ra
の役割と治療薬への可能性」



臨床分野

「SPT 期におけるテトラサイク
リン・エピジヒドロコレステリ
ン含有軟膏の塗布塗擦の有効性
評価—予備的検討」

57巻（1）：30-40, 2015

久保田健彦，戸村淳嗣，田井秀明，
村田雅史，百瀬 学，吉江弘正

筆頭著者所属：新潟大学医歯学総合病院歯周病科



優秀臨床ポスター賞（第59回春季学術大会）

最優秀ポスター賞

永井省二

（医療法人永仁会永井歯科医院）
「広汎型重度慢性歯周炎患者へ
固定性補綴治療を行った21年
経過症例」



優秀ポスター賞

永田 睦

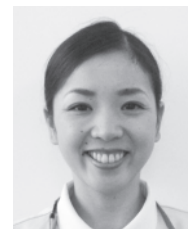
（永田むつみ歯科医院）
「エムドゲイン・自家骨移植・
GTRを併用し、再生療法を行っ
た広汎型侵襲性歯周炎患者の
15年間の治療経過」



ベストハイジニスト賞（第59回春季学術大会）

堂満愛弓

（鹿児島大学医学部歯学部附属
病院臨床技術部）
「尋常性天疱瘡による剥離性歯
肉病変の一症例」



2016年度功労賞

受賞賛助会員は以下のとおりです。

三宝製薬株式会社

第3回「若手研究者の集い」合宿研修会開催報告

第3回「若手研究者の集い」合宿研修会が平成28年10月8、9日、第59回秋季日本歯周病学会学術大会後に開催されました。本年度は、会場の新潟市朱鷺メッセからバスで約1時間の距離にある弥彦市岩室の旅館「ゆもとや」にて、25名の若手研究者参加の下行われました。

学会あり方委員会主催による本研修会は、平成26年に永田俊彦前理事長のご発案の下で開催されて以来、若手研究者間の交流促進とリサーチマインドの活性化を目的として開催されているものです。過去2回に続き「海外留学」をテーマとして、特別講演と最近の留学経験をもつ若手会員による講演が企画されました。また今回の開催においては、参加者と講師の先生方、ワーキングメンバーとのコミュニケーションの機会がより増えるように旅館にて相部屋での宿泊とし、二次会の代わりに大部屋をオープンにして懇談の場を設定いたしました。シニアの先生方の知るところである、いわゆる合宿らしい雰囲気のなかで開催されました。

特別講演においては、栗原英見次期理事長（当時）よりご講演をいただきました。普段はうかがえないブ

ライバートなお話を含めて場を和ませてくださりながら、アカデミックでの活動、海外留学についての貴重なご経験とその魅力をお話しされるとともに、若手会員への激励をいただきました。懇親会においてはさらにリラックスした雰囲気のなか、松田真司先生（広島大学）、岩山智明先生（大阪大学）、野中由香莉先生（新潟大学）より、比較的最近の留学経験についてご紹介をいただきました。参加者にとって自分の近い未来となる時期を歩む先生方のお話は、自身の現況に重ねていろいろと考える良い機会になったのではないかと思います。会が盛り上がるなか、吉江弘正先生（学会あり方委員会委員長）もご登壇くださいまして、ご自身の留学経験についてご紹介をいただきました。さらに、大部屋での懇談の場では、栗原先生・吉江先生が深夜までお付き合いくださり、参加者・ワーキングメンバー含めて膝を突き合わせてお話しする機会をいただきました。海外留学についてのみならず、他大学の先生方とさまざまな話題についてお話しすることができる貴重な機会になったことと思います。

合宿研修後のアンケート結果はおおむね好評でした。が、いただいたご意見を参考にしながら今後もさらに



充実した研修会を開催することで、若手研究者会員の研究活動や海外留学へのモチベーションを高めることにつながればなによりです。

最後に、本研修会の企画・開催にあたりまして、学会あり方委員会委員長の吉江先生、講演者の先生方、

ワーキンググループの先生方およびボランティアでご協力をいただいた先生方に感謝を申し上げます。

第3回「若手研究者の集い」合宿研修会

ワーキンググループ 幹事 新潟大学 多部田康一

役員名簿

日本歯周病学会役員（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

理事長	栗原英見						
常任理事	梅田 誠	小方 頼昌	齊藤 淳	坂上 竜資	佐藤 聡	高柴正悟	高橋慶壮
	西村英紀	沼部幸博	野口和行	東 克章	古市保志	三谷章雄	三辺正人
	森田 学	山崎和久	山本松男	吉成伸夫			
前理事長	和泉雄一			監事	安孫子宜光	新井 高	
庶務担当	五味一博	(幹事 長野孝俊)		会計担当	村上伸也	(幹事 藤田 剛)	
名誉会員	岩本義史	末田 武	岡本 莫	中村恭政	雨宮 璋	見明 清	川崎 仁
	中村治郎	堀内 博	二階宏昌	岡田 宏	加藤 熙	上野和之	村山洋二
	滝口 久	斎藤和子	栢 豪洋	村井正大	齋藤 滋	鴨井久一	石川 烈
	太田紀雄	亀山洋一郎	岡本 浩	上嶋俊彦	渡邊達夫	宮下 元	伊田克爾
	山田 了	角田正健	新井 高	矢田雅俊	横田 誠	零 石 聰	伊集院直邦
	下野正基	川瀬俊夫	Alice DeForest	Pierre C. Baehni	安孫子宜光	伊藤 公一	
	前田勝正	Martin A. Taubman	野口俊英	出口真二	大塚吉兵衛	宮田 隆	
	伊東隆利	野村慶雄	谷口威夫	Robert Genco	川浪雅光		

評議員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科

菅谷 勉(歯周・歯内, 准)

田中佐織(大学病院, 講)

北海道医療大学歯学部

◎◎古市保志(歯周・歯内, 教)

加藤幸紀(歯周・歯内, 講)

長澤敏行(臨床教育管理運営, 教)

森 真理(大学病院, 講)

岩手医科大学歯学部

○八重柏隆(歯周療法学, 教)

村井 治(歯周療法学, 助教)

東北大学大学院歯学研究科

根本英二(歯内・歯周, 准)

奥羽大学歯学部

◎◎高橋慶壮(歯周病学, 教)

大島光宏(薬学部, 教)

新潟大学大学院医歯学総合研究科

○吉江弘正(歯周診断・再建学, 教)

奥田一博(歯周診断・再建学, 准)

久保田健彦(歯周診断・再建学, 講)

◎◎山崎和久(口腔生命福祉学, 教)

川瀬知之(移植・再生学, 准)

中島貴子(歯学教育, 講)

小林哲夫(総合病院, 准)

杉田典子(総合病院, 講)

多部田康一(総合病院, 講)

両角俊哉(総合病院, 講)

明海大学歯学部

○申 基喆(歯周病学, 教)

辰巳順一(歯周病学, 准)

林 丈一朗(歯周病学, 准)

○荒木久生(オーラルリハビリテーション学, 教)

東京医科歯科大学

○和泉雄一(歯周病学, 教)

渡辺 久(歯周病学, 准)

青木 章(歯周病学, 講)

◎木下淳博(教育メディア開発学, 教)

荒川真一(生涯口腔保健衛生学, 教)

小田 茂(総合診療部, 准)

新田 浩(附属病院, 准)

東京歯科大学

◎◎齋藤 淳(歯周病学, 教)

富田幸代(歯周病学, 准)

○石原和幸(微生物学, 教)

伊藤太一(口腔インプラント学, 准)

杉戸博記(歯科保存学, 准)

日本歯科大学生命歯学部

◎◎沼部幸博(歯周病, 教)

伊藤 弘(歯周病, 准)

関野 愉(歯周病, 講)
○仲谷 寛(総合診療, 教)
川村 浩樹(総合診療, 准)
大澤 銀子(総合診療, 講)

日本歯科大学新潟生命歯学部

○佐藤 聡(歯周病, 教)
両角 祐子(歯周病, 准)
阿部 祐三(総合診療科, 准)
大森みさき(総合診療科, 准)
高塩 智子(総合診療科, 講)
坂井由紀(附属病院, 衛)

日本大学歯学部

○佐藤 秀一(歯周病, 教)
菅野 直之(歯周病, 准)
吉沼 直人(歯周病, 講)
西田 哲也(歯周病, 講)
今井 健一(細菌・教)

日本大学松戸歯学部

●○小方 頼昌(歯周治療, 教)
高井 英樹(歯周治療, 講)
中山 洋平(歯周治療, 講)
落合 智子(口腔免疫, 教)
中村 悦子(歯科衛生専門学校, 衛)

昭和大学歯学部

○山本 松男(歯周病, 教)
須田 玲子(歯周病, 准)
滝口 尚(歯周病, 講)

神奈川歯科大学

○三辺 正人(歯周病, 教)
金指 幹元(歯周病, 講)
菅谷 彰(歯学教育, 教)
○児玉 利朗(横浜クリニック, 教)
田村 利之(横浜クリニック, 教)
鎌田 要平(横浜クリニック, 講)
根本 千聖(附属病院, 衛)

鶴見大学歯学部

○五味 一博(歯周病学, 教)
長野 孝俊(歯周病学, 准)
白川 哲(歯周病学, 講)
○渡辺 孝章(短期大学部, 教)
小林 一行(短期大学部, 准)

吉川 景子(附属病院, 衛)
松本歯科大学

○吉成 伸夫(保存(歯周), 教)
○石原 裕一(保存(歯内), 教)
宇田川 信之(口腔生化学, 教)
音 琴 淳一(健康増進口腔科学, 教)
國松 和司(特任教)
田口 明(歯科放射線学, 教)
藤井 健男(総合口腔診療部, 教)
西窪 結香(大学病院, 衛)

朝日大学歯学部

○渋谷 俊昭(歯周病, 教)
北後 光信(歯周病, 准)
合田 征司(歯周病, 講)
安田 忠司(歯周病, 講)
荒木 美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)

愛知学院大学歯学部

○三谷 章雄(歯周病学, 教)
菊池 毅(歯周病学, 准)
林 潤一郎(歯周病学, 講)
菱川 敏光(歯周病学, 講)
○福田 光男(特殊診療科, 教)
稲垣 幸司(短期大学部, 教)

大阪歯科大学

○梅田 誠(歯周病学, 教)
田口 洋一郎(歯周病学, 准)
大浦 清(薬理学, 教)

大阪大学大学院歯学研究科

○村上 伸也(口腔治療, 教)
北村 正博(口腔治療, 准)
山田 聡(口腔治療, 講)
○恵比須 繁之(歯科保存, 教)

徳島大学歯学部

木戸 淳一(歯周歯内, 准)
成石 浩司(歯周病科, 講)
○尾崎 和美(口腔保健支援学, 教)
伊藤 博夫(予防歯学, 教)

広島大学歯学部

□栗原 英見(歯周病態学, 教)
藤田 剛(歯周病態学, 准)
水野 智仁(歯周病態学, 講)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
○高柴 正悟(歯周病態学, 教)
○森田 学(予防歯科学, 教)
山本 直史(大学病院, 講)
大森 一弘(大学病院, 講)

九州歯科大学

○中島 啓介(歯周病, 教)
白井 通彦(歯周病, 准)
○西原 達次(感染分子生物学, 教)
久保田 浩三(連携教育ユニット, 教)
村岡 宏祐(クリニカルワークショップ開発, 講)
溝部 潤子(口腔機能支援, 衛)
高橋由希子(連携教育ユニット, 衛)

九州大学大学院歯学研究科

○西村 英紀(歯周病学, 教)
讃井 彰一(大学病院, 講)

福岡歯科大学

○坂上 竜資(歯周病, 教)
吉永 泰周(歯周病, 准)
永井 淳(地域連携センター, 教)
金子 高士(口腔医療センター, 教)
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
○野口 和行(歯周病学, 教)
白方 良典(歯周病学, 准)
中村 利明(大学病院, 講)

長崎大学歯学部

○原 宜興(歯周病学, 教)
吉村 篤利(歯周病学, 准)
鵜飼 孝(歯周病学, 講)

慶應義塾大学

○中川 種昭(歯科・口腔外科, 教)

静岡県立大学短期大学部

吉田 直樹(歯科衛生学科, 准)

東京女子医科大学

岩田 隆紀(先端生命, 講)

日本医科大学

鴨井 久博(歯科, 教)

日本歯科大学東京短期大学

野村 正子(歯科衛生科, 衛)

九州看護福祉大学

金子 憲章(口腔保健学科, 教)

一般関係(五十音順)

青木 護(埼玉県)
赤堀 康(愛知県)
新井 英雄(岡山県)
○有田 博一(東京都)
飯野 文彦(東京都)
○池田 雅彦(北海道)
池田 康男(静岡県)
池田 頼宣(東京都)
石谷 昇司(東京都)
市丸 英二(佐賀県)
市村 光(埼玉県)
伊藤 正満(愛知県)
岩本 義博(香川県)
内川 宗敏(長野県)
内田 剛也(神奈川県)
梅村 昌孝(愛知県)
江澤 庸博(東京都)
遠藤 憲行(岩手県)
大石 慶二(香川県)

大石 美佳(香川県)
大江 丙午(岡山県)
○大野 友三(愛知県)
岡部 京平(京都府)
長田 豊(長崎県)
鬼塚 得也(福岡県)
片山 明彦(東京都)
加藤 義弘(北海道)
○金子 至(長野県)
鎌田 征之(東京都)
亀井 英彦(栃木県)
河口 浩之(広島県)
河原 傳(愛知県)
菊池 重成(東京都)
北村 秀和(東京都)
○木村 英隆(福岡県)
熊谷 敦史(岩手県)
黒柳 隆穂(愛知県)

郷家 英二(東京都)
河野 寛二(奈良県)
小島 丈尚(東京都)
後藤 邦之(愛知県)
小林 宏明(東京都)
小林 博(東京都)
○佐瀬 聡良(千葉県)
真岡 淳之(滋賀県)
澤田 弘一(岡山県)
汐見 登(静岡県)
篠原 啓之(徳島県)
渋谷 義宏(北海道)
島袋 善夫(大阪府)
清水 宏康(東京都)
白木 雅文(岐阜県)
杉田 裕一(茨城県)
杉山 貴志(神奈川県)
鈴木 康司(東京都)
鈴木 真名(東京都)

鈴木 基之(東京都)
関野 仁(東京都)
瀬戸 口尚志(鹿児島県)
田井 秀明(新潟県)
高島 昭博(福岡県)
高橋 潤一(東京都)
滝川 雅之(岡山県)
竹内 泰子(東京都)
田中 繁寿(岐阜県)
田中 真喜(神奈川県)
谷 真彦(長崎県)
谷 芳子(長崎県)
谷口 崇拓(長野県)
玉澤 かほる(宮城県)
佃 宣和(北海道)
土岡 弘明(千葉県)
土井 伸浩(広島県)
富井 信之(新潟県)
永田 俊彦(徳島県)

長縄敬弘(愛知県)	○廣瀬哲之(神奈川県)	松原成年(岐阜県)	茂木信道(神奈川県)
二階堂雅彦(東京都)	藤川謙次(東京都)	松山孝司(鹿児島県)	茂木美保(東京都)
西原勉彦(福岡県)	藤本淳(岩手県)	水上哲也(福岡県)	安井聡志(長野県)
長谷川嘉昭(東京都)	保坂均(群馬県)	峯柴淳二(岡山県)	梁川輝行(岩手県)
濱地貴文(福岡県)	穂坂康朗(東京都)	宮尾益佳(新潟県)	吉永英司(東京都)
◎東克章(熊本県)	本郷興人(北海道)	村上恵子(東京都)	吉野敏明(神奈川県)
平野治朗(神奈川県)	町頭三保(鹿児島県)	村田雅史(新潟県)	○若林健史(東京都)
平野裕之(京都府)	松下健二(愛知県)	村橋慶宣(大阪府)	渡辺和志(埼玉県)

賛助会員

医歯薬出版(株)	サンデンタル(株)	ジンマー・バイオメット・デンタル(株)
(株)エイ・アイ・シー	三宝製薬(株)	白水貿易(株)
エビス(株)	(株)ジーシー	(株)白鵬
(株)エフ・アール・エス	(株)松風	ヒューフレディ・ジャパン(同)
(有)エルバ	昭和薬品化工(株)	プランネットワークス(株)
長田電機工業(株)	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)
花王(株)	ストローマン・ジャパン(株)	三井住友トラストクラブ(株)
クインテッセンス出版(株)	タカラベルモント(株)	(株)モリタ
グラクソ・スミスクライン(株)	デンタルプロ(株)	(株)ヨシダ
合同酒精(株)	デンツブライシロナ(株)	ライオン(株)
小林製薬(株)	(株)トクヤマ	(株)ワイディエム
佐藤製薬(株)	(株)ニッシン	わかもと製薬(株)
サンスター(株)	日本歯科薬品(株)	

(五十音順)

日本歯科医学会役員 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

理事	和泉雄一		
評議員	小方頼昌	栗原英見	吉江弘正
予備評議員	五味一博	齋藤 淳	沼部幸博

【お願い】 名称の変更・所属評議員の移動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

ニュースレター 2017 年 4 月号をお届けします。まずは、村上伸也先生からの日本歯周病学会全会員に対するエールで始まります。キーワードは「biology-oriented な医療」、そしてその積み重ねが歯科医療に革新をもたらすと、期待を込めた結びとなっています。会員の皆様、ここまで隆盛した学会の勢いにブレーキをかけることなく、日々の地道な努力を重ねていきましょう。また、歯周病専門医・指導医の理念が掲載されています。認定資格申請のお知らせともども、お見逃しなきように。その他、各賞・各研究助成対象となられた先生方おめでとうございます。

話は変わりますが、最近読んだ本(ユヴァル・ノア・ハラリ著「サピエンス全史」, 河出書房新社)での一説。人類は農耕を通じて穀物をコントロールしていると思込んでいる。ところが、穀物の立場からすると、干ばつの続く時期には人類に水を汲みに行かせ、栄養が足りないと人類に肥料を撒かせて、自分(麦や米)の子孫を増やしているとのこと。どちらが賢いのでしょうか、まさに目から鱗。それを口腔細菌と歯周病に置き換えて考えてみました。研究者は一生懸命、口腔細菌の為害性をコントロールしようと試行を重ねています。同時にそれは、口腔細菌の立場からすると、自分たちの仲間を研究対象として何代にもわたって増やしてくれる研究者を首尾よくマインドコントロールしているのかもしれない。いつかは決着をつけたいものですね。

さて、和泉雄一理事長の下、広報委員会として最後のニュースレターになります。どこまで会員への情報源として役立ったのか、いささか不安です。1 頁目が少し地味かな? 主要コンテンツの部分が目立たないかな? 文字数が多すぎるかな? 等々反省しつつ、改良していくのでしょうか。次号からは、栗原英見理事長、佐藤 聡 広報委員会委員長の舵取りで情報提供に努めます。引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。

(広報委員会委員長 森田 学)